

宮ノ陣校区の

文化財マップ



久留米市

■宮ノ陣校区の文化財■

宮ノ陣は筑後川中流右岸に位置しており、明治22年市町村制施行により宮瀬村(明治九年に宮地村・国分寺村・荒瀬村が合併)・五郎丸村・大杜村(明治九年森村・草場村が合併)・若松村(明治九年恋段村・古賀村が合併)・八丁島村の五村が合併し、宮ノ陣村となり、昭和33年に久留米市に合併され、現在に至っています。

宮ノ陣町内には縄文時代の遺跡の存在は確認されていませんが、筑後川の川底や五万騎塚の発掘調査で縄文時代の土器が出土しており、遺跡が周辺にあったのではないかと考えられます。弥生時代になると「八丁島遺跡」で試掘調査の際、弥生時代中期の土器片が出土しており、恐らく集落跡があったと思われます。古墳時代の遺跡は見つかってはいませんが、対岸上流にある太郎原遺跡だいろはらでは古墳時代の集落跡が筑後川の堤防脇で発見されており、集落は宮ノ陣一帯にも今後新たに発見されるかもしれません。

奈良・平安時代の遺跡は見つかってはいません。鎌倉時代になると、現在の宮ノ陣町にみられる地名が、古文書などにあらわれます。五郎丸は、東寺宝莊嚴院の鱒坂庄あじさかの構成した名田として現れ、鎌倉時代末期に幕府から太宰府天満宮安楽寺に寄進され、以後安楽寺領となりました。永仁四年(1296)の「玉垂宮大善寺仏神事記」によれば、三潴庄の村々とともに、鎮守大善寺玉垂宮の祭礼諸役(田楽・相撲)を負担していることが知られます。大杜地区の草場は、永正八年(1511)年の古文書に「鱒坂庄之内草庭之庄」として初めて現れます。「草庭」とありますが、これは「くさば」と読みます。鱒坂庄とは四条家を領家として、東寺宝莊嚴院を本家とする宮ノ陣・小郡一帯にあった荘園です。また森は天正11年(1583)の高良山もり大祝領坪付に「森十五町」がみえます。当地には筑後川の渡しの一つである「杜の渡し」がありました。八丁島も鎌倉時代から確認できる地名です。建武元年(1334)の筑後国司宣に国衙尋問使として八丁島四郎入道道西の名が見られ、この人物は恐らく同村を苗字地とした、在地領主と思われます。この地に鎌倉時代には村落があったことは間違いないことでしょう。天正十四年(1586)には島津軍の北上に際し、筑紫広門の家臣岩橋氏が古賀城と町を焼き払ったことも文献で知られています。

宮ノ陣町は南北朝の戦いの過程で、懐良親王が陣を構えたことに困んだものと伝えられているように、南北朝期に焦点があてられていますが、地名などからもっと古く、鎌倉時代にはすでに宮ノ陣地区は開発が行われ、村落があったことが確かめられます。現在、この地区の歴史がどこまで遡るか不明ですが、今後発掘調査等の進展に伴い、鎌倉時代以降の遺跡やそれ以前の弥生・古墳・奈良・平安時代の遺跡が発見されるものと考えられます。

■こんなにあるぞ!! 宮ノ陣校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	みちしるべ 道標	江戸	思案橋の袂にあり、河川改修により現在位置に移されています。天保十四年、「右おごふりさいふ」「左たしろ さが道」とあり、この橋が肥前と筑前の分岐点です。
2	宮ノ陣神社	明治	明治21年高良大社宮司船曳鉄門が主となり、神殿を創建。南北朝期の征西将軍宮懐良親王・良成親王を合祀されています。
3	遍万寺	室町	永禄年中(1558～1570)建立と伝えられます。
4	国分寺	室町	古代の国分寺(国分町日吉神社一帯)の移転再興。『校訂筑後志』によれば、足利尊氏が再興し、慶長年間(1596～1615)筑後国主田中吉政が再興。明治二年頃県指定の地蔵来迎板碑を高良山愛宕神社奥の院から移しています。
5	五万騎塚	南北朝	昭和43年に九州縦貫自動車道路建設のため、現在地に移転再建。大原合戦の戦死者を集めて葬ったと伝えられます。僅かな高まりが残っていましたが、発掘調査では縄文～中世の遺物が出土しているが、南北朝期の遺物や人骨は出土していません。
6	五郎丸館跡	鎌倉	近藤氏累代の館跡。『筑後将士軍談』に「村中藪林の内にあり、近藤氏代々の館跡なり」とありますが、場所等は不明です。
7	報身寺	江戸	毛利秀包の時代に絶えた龍泉寺に代え、承応二年(1653)善導寺弁恩と当寺の住持となり寂誉が再興と伝えられています。
8	円通寺	江戸	境内に杜の渡しに建っていた道標が残っています。
9	もり 杜の渡し碑	南北朝	円通寺の南東、筑後川の堤防上にあります。大保原合戦の時南朝方軍勢がここを渡河したと伝えられています。
10	浄秀寺	安土桃山	文禄三年(1594)善慶が建立と伝えられます。草場村内には、慈恩寺・福厳寺があったが江戸時代に退転しています。

11	樽門遺跡	鎌倉	現地表面から約1mで遺構面を検出し、鎌倉時代の集落跡と考えられています。
12	蓮明寺	室町	永正三年(1506)善保の建立と伝えられます。
13	恋ノ段	戦国	享禄元年(1528)大友義鑑 ^{よしあき} 知行預ヶ状によれば、小河中務少輔に「鱒坂庄之内鯉檀」の三町が預け置かれています。
14	古賀城跡	戦国	筑紫上野守築城で、家臣岩崎麟可の居城です。
15	天満神社		八丁島の氏神。御供納を執り行っています。
16	八丁島遺跡	鎌倉	現地表面下1.3mで中世の遺構検出しました。弥生時代中期の遺物も出土しています。
17	一里塚跡	江戸	一里塚が設置されたのは、『米府年表』によれば、寛延三年(1750)のことであり、城下から宮の陣渡しを経て八丁島に至る間には五郎丸にもう一基置かれていました。

■ 貴重な指定文化財たち ■

No.	遺跡の名前	指定区分・指定日	こんな文化財です
18	宮ノ陣の將軍梅 (市指定)	天然記念物 (昭和63年 2月24日 指定)	正平十四年(1359)後醍醐天皇の皇子である征西將軍懷良親王 ^{かねなが} が、菊池、草野ら宮方の軍勢を率い、南下してきた少弐の率いる足利方の軍勢と筑後大保原で戦った際、この地に懷良親王が陣を張ったことが、「宮ノ陣」の地名の由来となり、親王自ら戦勝を祈って手植えしたとの伝説があります。
19	じきうらいこうず 地蔵来迎図板碑 (県指定)	有形文化財 考古資料(昭和33年4月 3日指定)	明治2年(1869)の神仏分離に際し、高良山愛宕神社の奥の院から国分寺に移されたものです。板状自然石の表面に地蔵菩薩来迎像を線刻しています。
20	八丁島の御供納 ^{ごくおさめ} (市指定)	無形民俗文化財(昭和60年6月 26日指定)	由来については明らかではありませんが、旧霜月15日に行われてきた「収穫祭」と「おかねの恩返し」・「菊姫物語」の伝説にまつわる魔払いの行事が一緒になったものと思われます。

■宮ノ陣校区の歴史年表■

時代	西暦	三潁・犬塚・西牟田校区のできごと	日本のできごと
旧石器	20000		狩り・漁労・採集等で生活する
	10000	筑後川流域に沖積平野が形成される	土器や弓矢を使い始める
縄文			日本列島がほぼでき上がる
弥生	紀元前	このころ八丁島遺跡に集落が営まれる。	稲作が伝わる
	紀元後		
	200		倭国大乱
古墳	300		卑弥呼が邪馬台国を治める
	500		古墳がつくられ始める
	600	太郎原遺跡に集落が営まれる。	筑紫君磐井の乱(527) 仏教伝来(538)
飛鳥			群集墳が盛んに造られる
奈良	700		大化の改新(645) 白村江の戦いで大敗北(663) 筑紫大地震(679) 平安京に都を移す(710)
	900	条里制による田圃の区画整理が行われる。	筑後国府・国分寺がつくられる
平安	1100	樽門・八丁島遺跡に集落が営まれる。	平安京に都を移す(794)
	鎌倉		鎌倉幕府の成立(1192)
室町	1400	大保原の合戦(1359)	室町幕府の成立(1336)
	1500		応仁の乱(1467)
安土桃山	1600		豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立(1603)
江戸	1800		
明治以降	1900	宮ノ陣神社創建(1889)	明治維新(1868)
	2000	久留米市に合併(1958)	

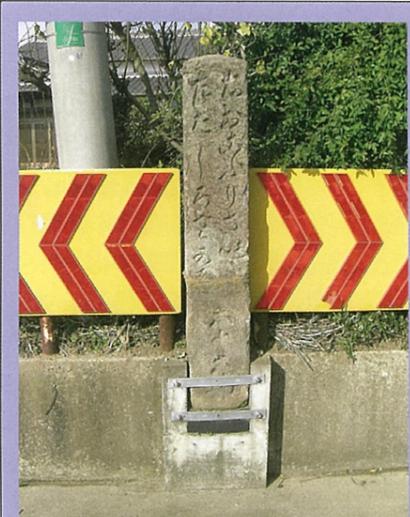
宮ノ陣校区文化財イラストマップ



おすすめスポット 宮ノ陣校区

- ・思案橋の道標
- ・宮ノ陣の將軍梅
- ・地蔵来迎図板碑
- ・五万騎塚
- ・杜の渡し碑
- ・古賀城跡
- ・天神掘
- ・一里塚跡

宮の陣校区の文化財マップ



① 思案橋の道標

思案橋北側にあります。裏面に天保十四卯二月の銘が見られます。



⑦ 一里塚跡

城下から宮ノ陣の渡し、五郎丸を経た八丁島の一里塚の跡地にあります。



⑭ 古質

この碑の西側についていたとつたえ



⑤ 五万騎塚

南北朝期筑後川合戦の戦死将兵を埋めたと伝えられています。



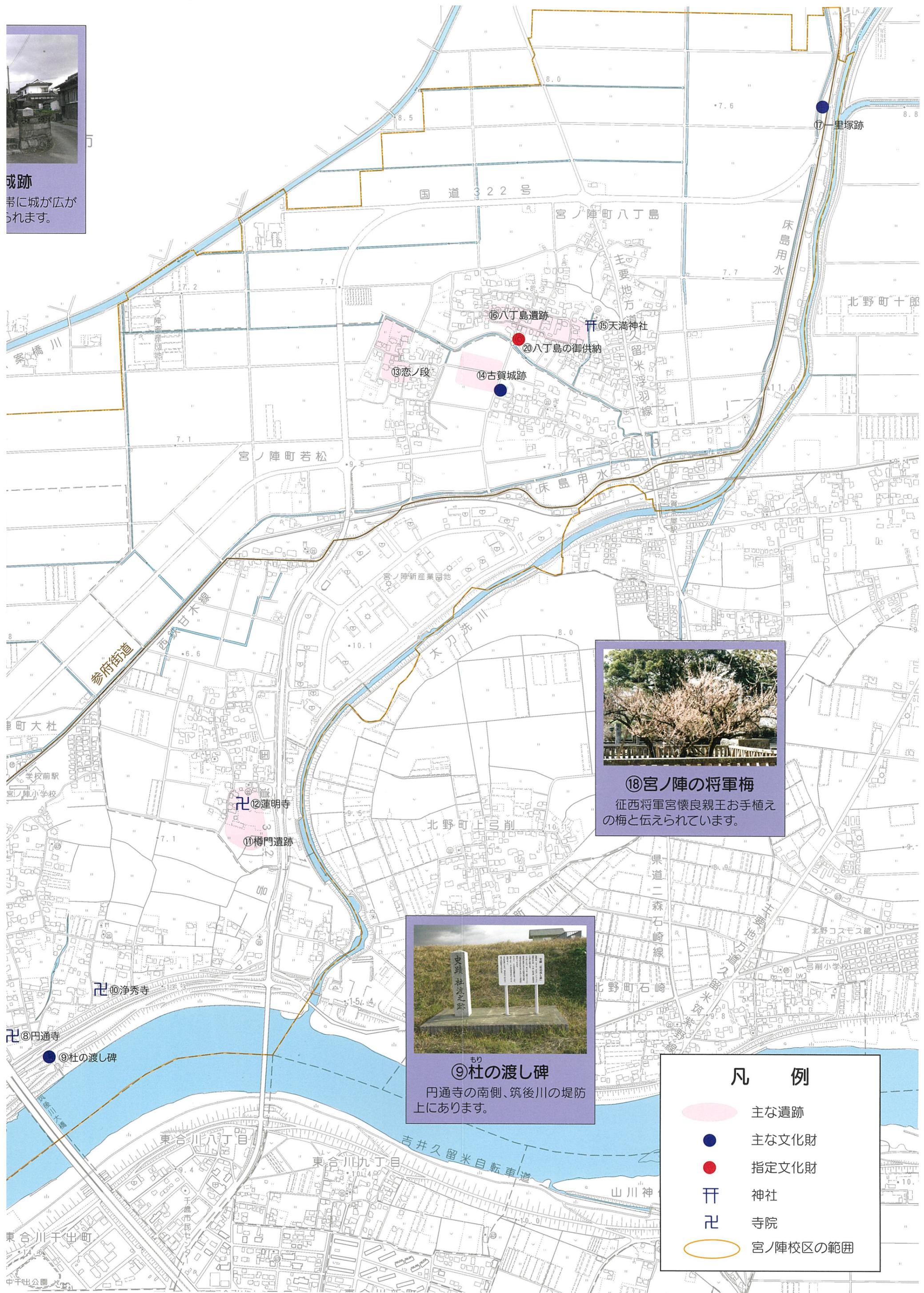
⑨ 地藏来迎図板碑

高さ約1mの板状自然石に線刻されています。正平二二年九月に建立されています。





成跡
帯に城が広が
られます。



⑱宮ノ陣の将軍梅
征西将軍宮懐良親王お手植え
の梅と伝えられています。



⑨杜の渡し碑
円通寺の南側、筑後川の堤防
上にあります。

凡 例	
	主な遺跡
	主な文化財
	指定文化財
	神社
	寺院
	宮ノ陣校区の範囲

久留米市埋蔵文化財センターのご案内



市内の遺跡から出土した土器や石器・金属器などの遺物をはじめ、発掘調査や整理作業の際に作成した図面・写真などの記録類を収蔵・整理・研究するための施設です。

当センターでは、資料の貸し出しや閲覧、文化財に関するご相談にも応じています。また、毎年秋には「考古資料展」を開催し、収蔵資料の公開を行っています。

ふるさとの歴史に関心をお持ちの皆さん、ぜひお越しください。お待ちしております。

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：土日・祝祭日・年末年始
入館料：無料



《文化財に関するお問い合わせ先》

久留米市市民文化部 文化財保護課
久留米市城南町 15-3 (市役所 12 階)
☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714
E-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6(え〜るピア敷地内)
☎0942-34-4995 FAX.0942-34-5045

宮ノ陣校区の文化財マップ

平成23年3月31日

発行：久留米市

編集：文化観光部文化財保護課

〈表紙〉八丁島の御供納